

建築とお金のはなし

株式会社日建設計 バリューマネジメント部門 VM企画室：澄川真紀
建築学科3年次対象 担当教員：大西康伸

実施概要

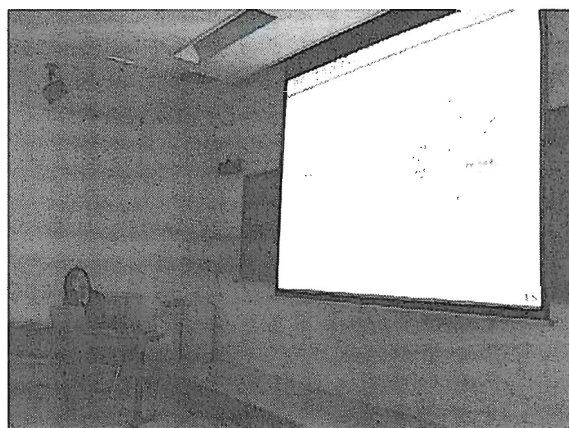
建物に関わるマネジメントという観点から、建物とお金の関わりについて2007年7月12日（木）にご講演いただいた。「建物に関わる人たちは、計画・設計・工事・・・などの建物を“つくる”というコトだけに注意を払いがちであるが、本当にこれだけを考えていて良いのか」という問題定義から講演がスタートした。

講演内容が建築の経済に関わる側面についての実践的業務に関する話であることから、3年生に加えて建築系の4年生や建築マネジメントを学ぶ大学院生も受講を可能とした。受講者は学部生30名、大学院生10名、教員3名であった。「将来にわたって、建物を戦略的に利活用していくためにはどうすれば良いのか」という問いに対して、建物のライフサイクルマネジメントやストックマネジメント、費用対効果試算による建て替え/改修検討など、オーナー・管理者視点からの建物の運用について興味深いお話を聞くことができた。

講演終了後の質疑では、大学での建築教育において普段話題にされることの少ない「お金」がテーマであったことが手伝って、活発な議論がなされた。

学生の感想文

とてもむずかしい講義であった。設計ですらまだ空想的で抽象的であるのにお金の話などされてしまっただけで、はひとつ飛ばしてしまったような気がして仕方がなかった。だがよく考えれば世に存在する物質のなかでいちばんお金がかかり、いちばんひつようなものが建築であり、またそれは趣味や遊びでいどでかえるものではなく住宅ですらわれわれ市民にとっては人生で一番の買い物になる。またそれを資産にしようとするものもいて、このようなものを知識なしで購入するのは莫大な数の馬券や株をかうのとなんらかわりないものになってしまう。またそのような商品をお客さんに平気でうってしまうような職業であるならばそれは詐欺師である。いま現在では、まったくをもって興味もないしピンとくるにはむずかしいところではあるが、もしわたしが建物を商品に商売をするのであれば、コストについての十分に知識をもつことは義務であるということはこの講義をうけることでみにしみてわかった。また今回の講義で説明されはさまざまなコストプランニングはとてもレベルのたかいことであるとのおもうのでこのようなことがあったなということでも覚えておきたいとおもう。いまはあまり関心することはないが何年後かに役に立つことがあるとおもうのでこの講義を有意義なものであったとおもう。(053t1642 畑中弘平)



数理で見るパターン形成

元九州大学大学院数理学研究院教授 栄伸一郎
数理工学科対象 担当教員：金 大弘

実施概要

雪の結晶や動物の表皮模様、化学反応における燃焼、沈殿の様子、周期的に現れる生物の個体数の増加・減少など、自然界には様々な特徴的な形を作るパターンが存在する。そのようなパターンの形成が人工的ではなく自然的形成されることは大変興味深い。本講演は、自然界のあらゆるパターンの形成におけるメカニズムについて、数理モデル的観点からの考察を、数理工学を専攻とする学生に理解させるために九州大学大学院数理学研究院の栄伸一郎教授を講師として招き、パターンの形成論と数理工学に関する最新の話や応用などを紹介してもらった。